



河曲地区地域づくり協議会

広報 かわの

令和6年12月20日 第19号

回
覧

発災時の避難所開設

「オリーブBOX」って何のこと？
「グリーンBOX」も初耳やなあ。

オリーブBOXの意味

オリーブBOXとは、大規模地震等が発生した際、避難所開設のために河曲小学校体育館など基幹収容避難所に配備されている「開設運営手順書および資料資材保管箱」のことです。

カタカナ英語交じりの名前の由来は オリーブの花言葉が「平和」「知恵」であるからだそうです。箱はオリーブ色（緑色）で家庭のクーラーボックスに似ています。鈴鹿市防災危機管理課では、まさかの時に備えて覚えておいて頂きたい、またこれに沿って、各地区に応じたマニュアル作成の手引きにしてもらえれば、とのことでした。

いつ、どこで、だれが用いるか

洪水とか台風とか、予知できてそれなりに公助で対応可能な災害に対し、大地震は予知不能、未曾有の大災害を引き起こします。

そこで命の安全が確保できれば次に、より安全な収容避難所への移動になります。その際、避難所の開設は、公助を担当予定の職員に頼りきらず、そこに一番早く到着した人が、自助と共助の



形で後続の人と一緒に動けば、より機動的です。

河曲では河曲小学校の倉庫にオリーブBOXが配置されています。その中に、駆け付けた人にあてて、「このボックスを開けたあなたが手順書に沿って避難所を開設して下さい」と、写真のような関連マニュアルと掲示物等が入っています。

過日のサテライト型訓練の際には防災の最前線にある皆さんに現物を確認して頂きました。

グリーンBOXとは

オリーブBOX とほぼ同じ目的で、河曲公民館に「グリーンBOX」が配置されています。コロナ対策が契機だったので、医療薬品や感染症対応手順書、「3密を避けて」の掲示板が当初の備品ですが、プライベートルーム（簡易個室）組立収納手順書、ダンボールベッド（簡易ベッド）組立手順書、およびそれらの現物なども用意されています。



鈴鹿市消防団河曲分団 西村善行分団長 藍綬褒章を受章

令和6年11月2日、鈴鹿市消防団河曲分団西村善行分団長が藍綬褒章を受章されました。

西村分団長におかれましては、昭和64年1月以来今日まで36ヶ年にわたり河曲地区の消防最前線にあって指導的立場で活躍されてこられました。

河曲住民挙げて祝意を表し、あわせて分団長のご献身に深く感謝申し上げます。



西村善行分団長

賑やかに河曲スポーツフェスタ 各地区 楽しく競う バザーも盛況 R6. 10. 20

10月20日、真っ青な空のもと、第41回河曲スポーツフェスタが開催されました。開会式には末松鈴鹿市長より祝辞をいただきました。

プログラムは例年どおり、地区別対抗競技と一般参加競技が組まれていて、各地区ともに楽しく



競いあっていました。

総合成績、優勝は西十宮地区でした。

今大会には次回のロス・パラリンピック陸上男子短距離走で日本代表入りを目指す稲垣克明選手が、竹野のリレー選手で参加されました。稲垣選手の今後の活躍を応援してまいりましょう。

閉会后、体育館ではPTA 主催でバザーがありました。掘り出し物をみつけた方もいらっしやったそうです。



混合四

混合四種リレー



でかばん・キャッチ



障害物競争



開会式 末松則子鈴鹿市長 祝辞



神戸中学吹奏楽団 開会式に賛助出演 10月20日午前9時5分



西十宮地区に中川明会長より優勝旗授与 午後2時6分



バザー 午後2時35分

一人暮らし高齢者の集い

河曲地区民生児童委員会主催 R6. 10. 28

10月28日午後の二時間、公民館で河曲地区民生児童委員会の主催により「一人暮らし高齢者の集い」が開かれました。秋に恒例の集いは、35名の参加者を18名の民生委員さんが支える和やかなひと時でした。

プログラムは前半がマンドリンクラブ「アモーレ」の楽員5人（マンドリン3人、ギター2人）の皆さんによる優しい音色の生演奏（下の写真）に加え、会場の全員が楽器にあわせ懐かしい童謡唱歌を大合唱するという大盛り上がりの1時間でした。

集いの後半は「フレイル予防の為の食事」と題する長寿と健康の勉強会（右の写真）でした。講師はアルテハイム鈴鹿の管理栄養士・小菅柚奈氏。



フレイル（虚弱）とは「加齢にともない、気力や体力など心身の活力が低下するとともに、社会的なつながりが薄れている状態」をいいます。健康と要介護の中間のような状態で、放置すると健康や生活機能を失う危険性があります。



地域づくり定例 博物館学校周辺美化

10月26日、協議会定例の博物館と小中学校周辺の草刈り整備を行いました。自治会長さんはじめ地域役員の皆さんにお世話になりました。



地区それぞれの季節行事

令和6年夏～初冬

夏の行事

■山辺町の伝承行事「百万遍」

山辺町に長く伝わる夏の行事に「百万遍」があります。その概要について、兼丸良政山辺町総代に一文を寄せて戴きました。

* * *

山辺町には400年ほど前から続く「百万遍」という慣わしがあります。町の池道山正覚寺（いけどうざんしょうかくじ）に伝わるもので、下掲写真のように、町内の南垣内・北垣内のうち、その年の当番垣内二十余名が御堂で車座になり、りんとりに従い、長さ10m直径3m程の大きな数珠を回しながら、念仏を百万遍となえます。

りんとりが「なあ～も～あ～み～だ～あんぶつ」と唱え、そのあとに皆が続いて「ホイなあ～も～あ～み～だ～あんぶつ、ホイなあ～も～あ～み～だ～あんぶつ」と唱和しながら大数珠を右隣に回し送っていきます。大数珠には房付きの数珠玉があつて、これが念仏をどれだけ唱えたかの目安になります。

「百万遍」は毎年7月の第一日曜日に行われます。昔からこの暑い時期になると疫病が流行するということから無病息災、家内安全を祈願して行ったと伝えられています。

当日は版木で「おふださん」を刷ります。以前は煤スス、今は墨汁で仕上げています。阿弥陀如来を表象する梵字キリクに続く「奉唱念彌陀寶号一百万遍災除處」の14文字から成るおふださんは唱念百万遍の証しとして各家に配られます。

災の字だけ小さいのは災いが大きくないようにとの祈りと願いからです。そのおふださんを玄関



正覚寺「百万遍」 平成11年7月

と裏口に貼っておくと悪病不入と言われ、山辺のどの家庭でも大事に貼られています。

長年使ってきた版木ですが三年前に奈良在住の名匠に新刻して戴きました。版木の裏面に「令和四年七月吉日 中村雅峯謹彫」の朱刻が見えます。

以前、煤は竈カマドに八升鍋を据え、薪を焚いて鍋の裏底に積もる煤を刷毛で擦りとり版木に塗って、おふださんを刷りあげていました。しかし近年は煤を作るのが難しくなり、墨汁に代わりました。このようにして最近では、持続可能な伝統行事とするため、出来るだけ負担の少ない方向にすすんで来ています。

* * *

去年と今年の「百万遍」の様子

昨年7月4日付の中日新聞（下の写真）にその模様が紹介されました。中央にりん通りの兼丸総代、左脇に回数の数え役、その膝前には唱念回数を積算していく数種の木札が見えます。そして百万遍を数えあげた目安の木札は、刷り上げたおふださんと共に御本尊に供えられます。なお、下の記事写真はおふださんの印刷の様子です。

今年の6月13日、兼丸総代から発された案内文



令和5年7月4日付 中日新聞

には、日時と場所のほか由来として、この行事は400年という歴史があるといわれており、まさに現在のコロナ感染症の状況下で大変意義深い行事と思われますので皆様多数お集り下さい、とありました。

現在、りんとりと念仏は垣内の中でも経験のある方が勤めてみえますが、兼丸総代によれば、今後のことを考えて、念仏を音声と画像記録に残して伝統行事が長く継承されるよう備えをしておきたい、とのことでした。

秋の行事

■国分 てんてん祭り

「伊勢国分寺まつり」で知名度が高い国分の町ですが、秋には町内のレインボー会館内、会館前広場、菅原神社境内の三会場で、天神さんの名に肖かった「てんてん祭り」が行われます。

快晴の10月13日、会館内では往時の国分が誇った大根漬けの生産過程写真や消防ポンプ車展示、歴史紹介、各種作品展、さらには見事なお点前の「国分茶屋」などがありました。

会館前広場では昔あそびができ、竹細工、装身具などの店が並んでいました。マルシェのテント群、ワークショップのテント通りは、初めての見物人には楽しい験学習になりました。

神社の境内脇ではうどんやみたらしなどの店が出ていて、腹ごしらえにも困りませんでした。



旗指物とお神輿に迎えられて



竹細工の展示販売



国分茶屋で一服



はさかけを模した会館内展示

10/13(日)
9:30~16:00
小雨決行
(雨天の場合は14日)
inレインボー会館
歴史と文化を見つめふれあいの町づくり

てんてん祭り

とびだせ!
Waraひろば
《19ブース》
ハンドメイド
キッズネイル
和菓子
パン・差し等
Waramarche
(日程によりブース数の変更あり
詳細はInstagramにて)

作品展示
バザー
昔懐かしあそび
模擬店販売
焼きそば・かき氷
うどん・鶏めし等

ワークショップ開催
ビーズプレスレット・ドライアレンジ
ハロウィンストロップ
キーホルダー・ヘアピン作り等
※各種体験、ワークショップとも
事前受付はできません

場所
レインボー会館
菅原神社境内
鈴鹿市国分町810

主催 国分町てんてん祭り実行委員会
後援 河曲地区地域づくり協議会

※14日に延期の場合は、Waraマルシェの
Instagramにてお知らせします。

■須賀 こども神輿 輪おどり

中秋の名月の晩、須賀では町あげて子供達が楽しみにしている「いも泥棒」に協力します。それが済むと10月を迎え、その第一日曜日に秋祭りの一日が入ります。

午前中、子供神輿が阿自賀神社を出発・到着地にして約90分かけて町内を練り歩きます。須賀

の町は旧国道23号線で東西二分されているため、神輿は西コース、東コースそれぞれ20名から30名の二手に分かれて所定のコースを「ワッショイワッショイ」と練って、最後、境内に戻ります。

午後の前半は神社境内と公民館でいろんなゲームで遊んだあと、3時から90分、神社境内の特設舞台で大人も子供も輪になって踊ります。



晩秋初冬の行事

■竹野 ふれあいLuminarie2024

晩秋から初冬にかけて、竹野ではルミナリエが開催されます。神戸のルミナリエは阪神淡路大震災のあと、慰霊、鎮魂、復興を象徴する光のオブジェとして始まりました。ここ竹野のルミナリエは、コロナ感染症を機に地域の人に、晩秋からクリスマスに至る一ヶ月間、ふれあいの場としての公園を美しい希望の光で満たそう、「コロナにまけるな」、がその主題でした。

山際博総代の発案で始まったこの催しは、町の方から多くの資材提供もあって、年々華やいだ場になってきて今年で5回目。写真は11月23日午



後6時すぎ、点灯式直後、5万個を越える電飾に彩られた「ふれあい」会場で撮りました。



第5回 竹野ふれあい
Luminarie 2024

11/23 (Sun) - 12/24 (Tue)

点灯時間: 18:00頃 - 21:00頃まで

点灯式 / 11月23日 17:30～ 式典
18:00～ 点灯

ふれあい

場所 / 三重県鈴鹿市竹野2丁目 竹野公園

サテライト型防災訓練

参加率 16.02% 前年比 0.74% ↑

各地区の緊急避難場所に駆けつけて互いの無事を確認するサテライト型防災訓練も今回で8回目、関係者所定の仕事は手際よく進みました。

今回は緊急食糧の配布を、各地区避難集合人数の本部直接申告をまって、その申告者が必要数を持ちかえる形にしました。訓練参加者数は全域で1616人、参加率16.02%（令和5年度15.28%）でした。

参加率 全住民 参加者 参加率
10087人 1616人 16.02%



本部立上げ・7時25分



防災スピーカーから全域
避難訓練を周知・8時00分

訓練終了・8時51分



緊急物資329人分を受取り地区に急ぎ持ち帰る・8時32分

防災訓練 町別参加者 R6.11.17

地区	人口	参加者	参加率 %
河田	394	85	21.57
野辺	1056	217	20.55
竹野	1898	153	8.06
山辺	328	56	30.79
ラウムズ		45	
木田	836	103	19.38
大谷		59	
国分	889	187	21.03
采女が丘	23	0	0.00
十宮	3349	382	11.40
須賀	1314	329	25.04
合計	10087	1616	16.02

河曲公民館文化祭 盛況

11月9～10日

令和6年度の公民館文化祭は二日とも好天に恵まれて盛況でした。

初日の9日は13時から16時まで各サークルの作品展示と活動紹介が、二日目の10日は9時半から14時半まで舞台発表も加わって開催されました。

今回は地域づくり協議会も発表枠を頂きましたので「河曲のむかしと今」と題する地区発展史を展示しました。

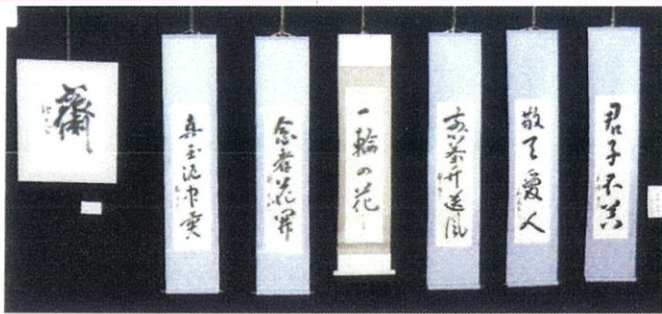


上・パッチワーク 下・にじろ



上・フォト講座 下・絵手紙





上・書道 下・深雪アートフラワー



上・新舞踊 下・神戸中学吹奏楽部



舞台発表 河曲保育所

地域づくり活動紹介



上・フォークダンス 下・アンサンブル・ヴォーチェ・リトス



上・民謡(川崎会) 下・うた仲間Ⅱ



絆〜一期一縁〜



河曲地区地域づくり協議会広報紙

『広報かわの』第19号 令和6年12月20日 発行
発行責任者 河曲地区地域づくり協議会 事務局長
事務局 河曲公民館内「地域部屋」 電059-390-1295